



受賞者と記念撮影（2列目左から2番目が觸澤副町長）

明治36年から現在も継続して役場敷地内に設置されている「気象観測所」の委託観測業務とその管理に献身的に協力し、気象業務の発展に寄与した功績が認められ、町に気象庁長官から感謝状が贈呈されました。

### 明治36年から気象観測業務に協力

### 町に気象庁長官から感謝状



受賞者と記念撮影（2列目右が鈴木町長）

ケーブルテレビやエリア放送など全国有数の地域情報通信基盤を整備・有効活用し、行政サービスの実現に向けて継続的な取り組みを進めていることが高く評価され、町が「情報通信月間」総務省東北総合通信局長表彰に選ばれました。6月2日に仙台市で開催された「電波の日・情報通信月間記念式典」で表彰式が行われ、鈴木重男町長が同局長から表彰状を受け取りました。

### 町の地域情報化推進策を高く評価

### 町が東北総合通信局長表彰を受賞



## いざという時のために AEDの設置場所を把握しておきましょう

AEDは、突然、心停止状態に陥ったとき、心臓に電気ショックを与えて正常な状態に戻す医療器具です。AEDは、電極を胸に貼ると心電図を自動的に解析し、操作は音声ガイダンスにより指示し、電気ショックが必要かどうかAEDが判断し指示しますので、誰にでも安心して簡単に取扱いできます。

AEDは公共施設のほか、人が多く集まる施設を中心に設置が広がっています。いざという時のために、普段から町内のAEDの設置場所を把握しておきましょう。

盛岡中央消防署葛巻分署では随時、救命講習を受け付けています。また、町内のAED設置場所も継続して調査していますので、設置されている事業所などがあればお知らせくださるようお願いします。

盛岡中央消防署葛巻分署 ☎66-2709

### ■町内のAED設置場所

役場、総合センター、葛巻病院、社会体育館、総合運動公園野球場、盛岡中央消防署葛巻分署、消防団屯所（第5、6、7、8、9、10、11、12、14、15、17、18分団）、葛巻小学校、小屋瀬小学校、吉ヶ沢小学校、江刈小学校、五日市小学校、葛巻中学校、小屋瀬中学校、江刈中学校、葛巻高校、葛葉荘、高砂荘、アットホームくずまき、くずまき交流館プラトー、森のこだま館、ふれあい宿舎グリーンテージ、ふるさと体験学習館（モウモウ館）、高梨乳業(株)岩手工場、守山乳業(株)葛巻工場、西島医院、遠藤歯科医院、高橋歯科医院、新町自治会館

## 炎天下

## 懸命の消火活動



▲約1km離れた水源からホースを何十本もつなぎ、ポンプ車両などが中継に入り火災現場へ送水作業を行いました



▲約20%の水が入ったジェットシューターを背負い、やぶを分け入り懸命の消火活動に当たる消防団員



▲臨時ヘリポートになった「道の駅くずまき高原」で給水し、火災現場へ向かう山形県の防災ヘリ「もがみ」



▲残り火の確認作業。ジェットシューターを使い、くずぶっている部分の消火作業に当たりました

本町との町境・岩手町地内国有林で

# 林野火災発生



1 白煙を上げて勢いよく延焼する火災現場 2 上空からの様子(写真右が本町側) 3 ササや朽ち木に燃え広がる山林内の様子

## 延べ千人以上が消火活動 延焼を最小限に食い止める

5月30日に本町との町境となる岩手町地内国有林で林野火災が発生したことに伴い、町は同日14時に町災害対策本部を設置、鎮圧宣言が出された6月1日18時以降は災害警戒本部に移行し、6月5日16時の鎮火宣言までの間、災害対応に当たりました。消火活動では、5月30日と31日の両日、岩手、秋田、宮城、山形4県の防災ヘリと自衛隊の大型ヘリ延べ16機が空中からの消火活動を行ったほか、鎮圧宣言が出された6月1日までの3日間に盛岡中央消防署管内の消防署員、葛巻町と岩手町の両消防団員の延べ千人以上が消火活

動に当たり、延焼を最小限に食い止めることができました。この間、町では関係機関との連絡調整のほか、土谷川地区に自主避難者の受け入れ体制の構築、消防団員などへの備蓄食料供給や町婦人消防協力隊などへの炊き出し要請など、消火活動の支援を行いました。人的被害と住家被害はなかったものの、あらためて火災の恐ろしさを認識した災害となりました。ちょっとした不注意から大規模な火災を招いてしまいましたので、普段から火の取り扱いには十分注意しましょう。